

# 医学情報サービス研究大会 30 年間の軌跡

## －大会集合写真をとおして－

青木仕<sup>1),2)</sup>、及川はるみ<sup>1),3)</sup>、大谷裕<sup>1),4)</sup>、城山泰彦<sup>1),2)</sup>、小室沙絵<sup>1),5)</sup>、西さやか<sup>1),6)</sup>、  
松坂重徳<sup>1),7)</sup>

1) 医学情報サービス研究大会 30 周年記念誌編集委員会、2) 順天堂大学図書館、3) 聖路加国際大学学術情報センター図書館、4) 東邦大学医学メディアセンター、5) 聖マリアンナ医科大学医学情報センター、6) 東京医科大学図書館八王子医療センター分館、7) 株式会社インフォレスト営業企画部

### 研究会；医学情報サービス研究大会；図書館情報サービス研究大会

医学情報サービス研究大会 (MIS) は、1984 年に第 1 回大会を東京都養育院で開催してから、2013 年の沖縄大会で第 30 回大会を迎えました。“Learning from each other!” の旗のもとに、運営母体を持たず、どのような組織にも依存せず、スポンサーの支援も受けず、個人が自由に参集しボランティア精神のもと、参加者の自主的な運営によって、今日まで継承されてきました。これからも設立当初からの意識を継承しつつ、医学・病院・看護・薬学・歯学・保健など所属機関の枠を越え、皆さんが自由な個人のフォーラムとして組まれている課題に対する成果を発表してフランクに意見交換をするとともに、年に一度お互いに顔を見合わせながら交流できる場を提供して、さらに研究大会を発展させていけたらと願っています。

このたび、MIS21 東京大会で配布した“大会 20 周年記念誌”に続いて、直近の 10 年 (2004 年の MIS21 東京大会から、2013 年の MIS30 沖縄大会) を中心とした MIS の歴史を振り返る冊子、「医学情報サービス研究大会 30 周年記念誌」を発行する運びになりました。編集委員は、幹事会有志+次世代を担う図書館員とし、MIS を第 1 回から熟知するベテランから、第 1 回当時はまだ生まれていない若手という幅広い年齢層の委員が集い、企画・検討を重ねてまいりました。30 周年記念誌の構成は、1. 大会の記録、2. MIS を分析した論文、3. 過去 10 年間の MIS を開催してこられた方々の記事、4. 大会集合写真、5. 参加者からの記事、となります。本発表では、この中から、30 周年記念誌の編集過程で収集した各大会の集合写真を、拡大して展示いたします。

MIS の参加者は、時代の経過と共に、顔ぶれも少しずつ変わってきています。それと同時に、MIS に関わる様々な資料も、時の経過と共に散逸してしまうことは免れません。そのため、大会の節目で、このように記念誌という形で記録をまとめておくことは意義あることと思います。大会 30 周年記念誌と本ポスター発表により、MIS が歩んできた 30 年間の歴史を振り返りつつ、今後の MIS の礎としていただければ幸いです。